

令和元年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

議案第26号から議案第28号までの3件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第26号 筑紫野市自転車駐車場条例等の一部を改正する条例の制定』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、消費税の税率引き上げが令和元年10月1日から施行されることから、税負担の円滑かつ適正な転嫁を基本として対処するとの国の考え方を踏まえ、使用料等の改定を行うため、条例の一部を改正するものです。

委員会では、令和元年度一般会計予算の使用料の額は、消費税8パーセントの額ではなく、10パーセントの額で算定していると捉えてよいのか、との質疑があり、執行部からは、10月1日から消費税率10パーセントと見込んで予算を組んでいる、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第２７号 筑紫野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部改正に伴い、本市が準拠する投票所経費等の基準額の改定等が行われたことにより、条例の一部を改正するものです。

委員会では、法改正の具体的な趣旨はどのようなものか、との質疑があり、執行部からは、最近の物価の変動等を踏まえて基準額の改定が行われたものである、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第２８号 筑紫野市税条例の一部を改正する条例の制定』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、個人住民税の非課税措置の見直し、軽自動車税におけるグリーン化特例の見直しを行うため、条例の一部を改正するものです。

委員会では、ひとり親に対して非課税措置をするということだが、対象者はどれぐらいいるのか、との質疑があり、執行部からは、令和元年５月末現在で６６世帯である、との答弁がありました。

また、一委員から、電気自動車、天然ガス自動車は、グリーン化特例の見直し後も７５パーセント軽減が継続されるが、当該自動車 で筑紫野市に登録されている車はあるのか、との質疑があり、執行部からは現時点では登録されている車はない、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。